

事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

1. 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当財団は平成 17 年 10 月に児童福祉の向上に寄与することを目的として設立され、平成 22 年 3 月 1 日に公益財団法人に移行いたしました。

当財団は設立以来下記の 4 つの公益目的事業を行ってまいりましたが、当事業年度も継続して実施いたしました。

事業別の概要は次のとおりです。

【公益目的事業 1 (施設充実事業)】

児童養護施設における「地域小規模児童養護施設」または「分園型の小規模グループケア」の新設時に必要な什器・備品代の支援を行いました。

【公益目的事業 2 (研修事業)】

児童養護施設に勤務するケアワーカーのレベルアップを目的として、下記の研修を実施しました。

- ・ SBI 研修 (基礎研修)
- ・ SBI 子ども志塾 (上級研修)
- ・ SBI ブロック別研修 (ブロック別の研修および交流会)

【公益目的事業 3 (自立支援事業)】

・児童養護施設の児童を対象に英会話教育支援として英語塾、英会話教材、外国人によるキャンプへの参加の費用を助成しました。児童養護施設等を退所した子ども達が入所する「自立援助ホーム」や子ども達の緊急避難先である「シェルター」の運営費を支援しました。

【公益目的事業 4 (福祉団体等活動助成事業)】

国内初開催の「子ども虐待防止世界会議名古屋 2014」、児童虐待防止の啓発活動である「オレンジリボン運動」の支援や日本医師会との共催で「子育て支援フォーラム～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して」を実施しました。

事業区分	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	達成率 (%)	事業費率 (%)
公益目的事業 1	施設充実事業	35,580	19,238	54.0	16.2
公益目的事業 2	研修事業	28,430	30,743	108.1	26.0
公益目的事業 3	自立支援事業	28,480	32,148	112.8	27.2
公益目的事業 4	福祉団体等活動助成事業	25,680	21,918	85.3	18.5

(2) 資金調達等の状況

- ①当事業年度において実施した資金調達はありません。
- ②当事業年度において実施した設備投資はありません。

(3) 直前2事業年度の財産及び損益の状況

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (当事業年度)
経常収益	6	55	105
評価損益等調整前 当期経常増減額	△90	△34	△12
当期経常増減額	△89	△34	△12
正味財産期末残高	623	589	576

(4) 主要な事業の内容

事業	主要な事業の内容
施設充実事業	<p>児童養護施設等の児童福祉関連施設の施設環境改善・充実を支援する事業。</p> <p>支援対象：児童養護施設 6 施設</p> <p>支援金額：14,184,649 円</p>
研修事業	<p>児童養護施設等に勤務する職員のレベル向上を目的とする研修事業。</p> <p>研修対象：児童養護施設等に勤務する職員（合計 279 名）</p> <p>研修回数：3 コース 合計 7 回</p> <p>合計金額： 20,020,363 円</p>
自立支援事業	<p>児童福祉関連施設に入所している児童の自立を支援する事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立援助ホーム支援 1 施設 3,000,000 円 ・ シェルター事業支援 2 施設 6,000,000 円 ・ 当事者の支援団体支援 1 団体 279,578 円 ・ 英会話教育支援 16,856,864 円
福祉団体等活動助成事業	<p>児童福祉向上を目的とする各種福祉団体等の活動を助成する事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子ども虐待防止世界会議名古屋 2014」（9 月開催）に対し、開催費用及びスポンサーセッション費用として、合計 1,000 万円の寄附。 ・ 日本医師会との共催による「子育て支援フォーラム」を 4 回開催 4,410,811 円 ・ NPO 法人児童虐待防止全国ネットワークに対し、「オレンジリボン運動公式ポスターデザインコンテスト 2014」の共催協力金として 30 万円を寄附。 ・ 児童虐待防止キャンペーンライブ「Child Aid Live」に対し、協賛金 10 万円を寄附。 ・ 全国里親会主催「里親支援専門相談員活動マニュアル」作成研修会運営費として 170 万円を助成。 ・ SBI グループとしてオレンジリボン・キャンペーン月間（11 月）において、普及・啓発活動に参画。グッズ購入額及び寄附額 869,095 円。

(5) 職員に関する事項

職員数 男性 1名、女性 2名 合計3名（全て常勤） （平成27年3月31日現在）

(6) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	決議事項	会議の結果
平成26年6月4日	① 第10期計算書類、事業報告並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書の承認の件 ② 定時評議員会招集の件	いずれも可決
平成26年6月23日 書面決議	① 理事長（代表理事）選定の件 ② 業務執行理事選定の件	いずれも可決
平成26年11月14日 書面決議	① 臨時評議員会招集の件 ② 基本財産の処分の件 ③ 財産管理運用規程一部改正の件	いずれも可決
平成27年3月27日	① 第12期事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認の件 ② 寄附先の選定及びその他支援事業の実施について、その決定を理事長に一任する件 ③ 利益相反取引等の承認の件（マイクロソフト社等製品の購入） ④ 利益相反取引等の承認の件（基本財産の処分）	いずれも可決

② 評議員会

開催年月日	報告事項	会議の結果
平成26年6月23日	① 第11期事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件 ② 第10期計算書類、事業報告並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書の件 ③ 理事、評議員及び評議員選定委員の異動に関する件	—
	決議事項	会議の結果
	① 理事選任の件	可決
開催年月日	決議事項	
平成26年11月14日	① 基本財産の処分の件 ② 定款一部変更の件	いずれも可決

③ 諮問委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 26 年 10 月 17 日	財団の事業活動に関する報告、意見交換、26 年度 助成金支払先施設の選定	—
平成 27 年 2 月 20 日	財団の事業活動に関する報告、意見交換	—

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	田淵 義久	平成 28 年 6 月	非常勤	
業務執行 理事	川島 克哉	平成 28 年 6 月	非常勤	SBI ホールディングス(株) 代表取締役執行役員副社長
理事	北尾 吉孝	平成 28 年 6 月	非常勤	SBI ホールディングス(株) 代表取締役執行役員社長
理事	山田 淳一郎	平成 28 年 6 月	非常勤	税理士法人山田&パートナーズ 名誉会長
理事	畠山 寛	平成 28 年 6 月	非常勤	
理事	海老根 靖典	平成 28 年 6 月	非常勤	大樹リサーチ&コンサルティング(株)代表取締役社長

(2) 監事

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
監事	江尻 隆	平成 28 年 6 月	非常勤	西村あさひ法律事務所法人社員
監事	加藤 善孝	平成 28 年 6 月	非常勤	優成監査法人統括代表社員

(3) 評議員

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
評議員	渡邊 啓司	平成 29 年 6 月	非常勤	
評議員	新井 賢一	平成 29 年 6 月	非常勤	SBI バイオテック(株)代表取締役
評議員	佐野 光徳	平成 29 年 6 月	非常勤	(株)クリスタルアーツ 代表取締役社長
評議員	田坂 広志	平成 29 年 6 月	非常勤	(株)ソフィアバンク代表取締役
評議員	内尾 和仁	平成 29 年 6 月	非常勤	

(4) 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額(千円)	備考
理事	6名	110	
監事	2名	50	
評議員	5名	30	
合計	13名	190	

- (注) 1 理事の報酬限度額は、定款第 33 条において、年額 800,000 円以内と定められています。
2 監事の報酬限度額は、定款第 33 条において、年額 200,000 円以内と定められています。
3 評議員の報酬限度額は、定款第 15 条において、年額 1,000,000 円以内と定められています。

3. 会計監査人に関する事項

(1) 会計監査人の名称

新日本有限責任監査法人

(2) 当該事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

1,620 千円 (消費税込)